

January 22, 2010

JAWIC

Seattle News

世界最大規模のペレット工場

現在、世界最大のウッドペレット工場はグリーンサークルバイオエナジー社（フロリダ州コットンデール市）の年間生産能力 56 万トンであるが、RWE イノジー社（本社ドイツ、エッセン市）は米国ジョージア州に 75 万トン生産規模の工場建設を決定。当初はオランダの発電所での石炭混焼用（現在の 30%を 50%まで高める）に向けられるが、将来はドイツ、イタリア、英国へも出荷する計画。原料としてサザンパイン低質材原木を年間約 150 万トンが必要。輸出港は同州サヴァンナ。

米国で近年ウッドペレット工場の新設が増えているが、これはほとんどが EU への輸出を狙ったもの。EU は 2020 年までエネルギー消費量の 20%を再生可能エネルギーで賄うことを目標としているが、国内でこれを達成するのは困難な国が多く、輸入に依存せざるを得ない。カナダ BC 州でもマウンテンパインビートル被害木の処理対策の一環としてペレット生産に力を入れており、EU への輸出も伸びている。北米のペレット生産量は過去 5 年間で 5 倍になっており、2009 年の生産能力は約 620 万トン（約 120 工場）と推定されている。米国ではペレットはまだ一般家庭用が主流（2008 年約 80%）であるが、カナダは約 90%を輸出。

図：北米のウッドペレット工場ロケーション

